

2020日本のうたごえ祭典inひろしま

ひかりにむかって

実行委員会がスタート

10月27日13時30分からグリーンアリーナ中会議室で「2020日本のうたごえ祭典inひろしま」第一回実行委員会が64名参加で開かれました。



来賓のうたごえ副会長 渡辺

長野から駆けつけていただいた日本のうたごえ協議会の渡辺亨副会長から「ひろしま祭典」への期待の挨拶がありました。



寺本実行委員長

続いて寺本美和子運営委員長が、『「昨年日本のうたごえ協議会」から2020年広島祭典開催の要請をされました。2020年は「核兵器廃絶条約」

の運動が世界的規模で広がりを
 見せ、NPT（核不拡散条約再
 検討会議）が開催されます。被
 爆75年のヒロシマは特別の思い
 で迎える年となります。202
 0年に日本のうたごえ祭典を広
 島で開催できることは歴史的に
 も大きな意義があり、広島にとっ
 て素晴らしい年となるでしょう。
 手を取り合って楽しい祭典、壮
 大な夢のある祭典としたい」と
 抱負が述べられました。

①被爆者を主人公とした祭典と
 したい。
 ②ひろしまの次世代の若者にパ
 トンを渡せる祭典にしたい。
 11月21日（土）は記念音楽会
 として、広島文化学園HBGホー
 ル（2000人収容）で被爆75
 年ヒロシマを柱に据えた企画と
 します。「核兵器のない世界へ」
 「ひかりにむかって」のスロー
 ガンにふさわしいステージ企画
 を組みます。



高田企画委員長

三宅徳子事務局長がこの間の
 経過を説明し、本日の実行委員
 会のスタートとなったと報告さ
 れました。
 企画委員会から高田龍治委員
 長の祭典の中身が提案されまし
 た。

もう一つは大音楽会（県立体
 育館・グリーンアリーナ）で11月
 22日（日）文字通り6500人
 が集うメインの大音楽会です。
 歌う側もオーケストラの伴奏で
 1000人規模の合唱団を想定
 しています。
 ひろしまから平和のうたごえを
 発信したい、壮大な企画が提案
 されました。
 2つの音楽会に胸がワクワクし
 ます。



植木組織宣伝委員長

続いて組織・宣伝委員会の植
 木俊郎委員長からポスター・シ
 ンボルマーク案の提案や基本
 な組織活動へのお願いが行な
 われました。



鎌田財政委員長

財政委員会の鎌田慶一委員長
 から財政規模など大まかな財政
 方針についての考え方が示され
 ました。



山廣事業委員長

事業委員会の山廣成美委員長
 から取り組み・グッズ案や現在
 検討している事柄の提案がなさ
 れました。

最後に事務局より今後のスケ
 ジュールの提案が行なわれ、ひ
 ろしま祭典に向けて大いに盛り
 上がった実行委員会となりました。